



2026年2月2日

NANOホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長CEO 松村 淳  
(4571 東証グロース)  
問合せ先 IR 担当 土屋 千映子  
電話番号 03-6432-0020  
URL <https://www.nano-hd.com>

### 子会社 Nano Bridge Investment 株式会社による 投資事業有限責任組合（ファンド）設立に関するお知らせ

当社子会社である Nano Bridge Investment 株式会社（NBI）（代表取締役社長 飯野智）は、ヘルスケア領域における成長企業への投資機会を拡大するため、SBI ホールディングス株式会社の連結子会社である SBI 新生企業投資株式会社を親会社とする SBI 新生グロースキャピタル株式会社（SGC）と共同で新ファンド「NBI-SBISGC1 号投資事業有限責任組合（NSS ファンド-1）」を組成しましたのでお知らせいたします。NBI と SGC はそれぞれ、本件に関連する適格機関投資家等特例業務の届出が関東財務局に受理されております。

#### 1. 本ファンド設立の背景

日本では政府が創薬力の強化を重要政策として進め、医薬品・ヘルスケア産業の成長を後押ししています。しかしその一方で、市場構造の変化により技術力の高い多くの成長企業が資金調達の壁に直面しています。

この政策の追い風と市場構造変化とのギャップを埋め、日本のヘルスケア産業の成長を継続的に支えるため、NBI は初めてとなる NSS ファンド-1 を立ち上げ、日本のヘルスケア領域に新たな資金供給の枠組みを提供します。

#### 2. 本ファンドの概要

名称	NBI-SBISGC1 号投資事業有限責任組合（NSS ファンド-1）
組成日	2026年1月30日
GP <sup>※1</sup>	Nano Bridge Investment 株式会社、SBI 新生グロースキャピタル株式会社
規模	100～150 億円
運用期間	2026年1月30日～2032年12月31日
目標 IRR <sup>※2</sup>	25%

※1 GP（無限責任組合員）：ファンドの運営主体として、投資判断・投資先支援・管理業務などファンド全体の運営を担う

※2 IRR（内部収益率）：投資期間中のキャッシュフローを基に投資効率を年率換算で評価する指標

#### 3. 当社業績への影響

2026年3月期業績への影響は軽微です。今後、本ファンドからの収益は子会社 NBI を通じて当社連結業績に寄与する可能性があります。なお、当社が検討している M&A 等につきましては、引き続き複数候補を対象に慎重に検討を進めております。今後、適時開示が必要と判断される事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上